

平成 24 年度 第 2 回越前町地域公共交通会議

議 事 録

開催日時：平成 24 年 10 月 31 日(水)

午後 2 時から午後 3 時 00 分まで

開催場所：越前町役場 別館 2 階 大会議室

●出席者

・委員：14名

(欠席者6名 富山委員、木下委員、高橋委員、三木委員、木村委員、吉村委員)

・事務局：6名

吉田総務理事、出口まちづくり課長、藤崎課長補佐、小山主査、河合主査、藤野主事

●議事概要

(1) 越前町地域公共交通会議設置要綱の改正について

事務局	事務局より説明
	質疑応答なし、原案のとおり承認

(2) (3) コミュニティバス朝日地区巡回ルート・織田地区巡回ルートの路線変更について、コミュニティバス停留所の新設・撤去・位置変更について

事務局	事務局より説明
織田委員	気比庄東のバス停は図面によると県道から少し南の町道に入ったところに位置しているが、間違いはないか。
事務局	バスの駐停車と、利用者の乗降が安全にできるよう、町道に少し入ったところに停留所を設置する予定です。
織田委員	新設予定の気比庄東停留所は、住宅が増加している場所から少し離れているが、効果は期待できるか。
事務局	織田委員の言うとおりに、本来ならば路線変更し、気比庄地区東側の住宅地に停留所を設置の方が効果的ですが、現在その付近で利用される方が1名しかおりません。今回は要望にすぐに対応が可能な、現行の路線上に停留所を追加設置することとしました。今後宅地化が進み、利用が増えるようであれば、路線を東側の住宅地付近にまで延伸し、停留所の設置を検討させていただきます。

織田委員	今後、気比庄地区東側の住宅地に路線延伸し、新たに停留所を設置するならば、現在の気比庄停留所の近くには図書館停留所もあるため、気比庄停留所と今回設置する停留所を廃止し、効率化を図ってもよいと考える。
浅沼副会長	路線の検討時に、この地域の意識調査を行ってから路線を検討すると良いのではないか。
事務局	今後、乗降調査や区長との協議を行い路線設計をしていきます。
浅沼副会長	織田地区の巡回ルートの変更理由は。
事務局	現在、茱原停留所は、福鉄バスの茱原停留所と同じ箇所に設置しているが、集落の中心部から離れており、区長と利用者からの要望で、利便の良い集落中心部に移設します。茱原地区には朝日地区巡回ルートと織田巡回ルートが乗入れしているので、両路線とも路線変更を行い停留所も移設します。
	質疑応答終了、原案のとおり承認。

(4) その他

浅沼副会長	現在のコミバスの利用状況について説明して欲しい。
事務局	平成 17 年 6 月に運行を開始し、平成 21 年度をピークにここ数年利用者が微減しています。減少理由は、23 年 6 月からゼロのつく日の無料乗車を廃止し、利用者の少ない便をデマンド化した影響、無免許者の減少、また、老人福祉施設の利者数も減少していると聞いています。免許返納制度は毎年 20 名以上の実績はあるが、全体の利用者増加までの効果は表れていません。
矢部委員	平成 23 年 11 月から、京福バス路線を再編し、定時定路線の一部をデマンド化し、予約率が約 3 割という状況です。当初の見込みに近い数字で推移している。越前町コミバスのデマンドの予約率を教えてください。
事務局	平日のデマンド運行のひと月あたりの予約率は、概算で朝日地区が 50/80、宮崎地区が 70/80、織田地区が 10/60 です。

閉会